



発行所 三池炭鉱労働組合 大牟田市不知火町2 電話 3033番 7140番 編集兼 発行人 渡田 紀生

月二回発行について こんごは毎月一、十六日の二回発行となりました。

ゼネストで春闘を闘う決意と

三池支援を一致決定

炭労第22回臨時大会終る

第三十二回炭労臨時大会は去る二月二十九日から三月一日までの四日間、東京の全電通会館でひらかれた。本大会の中心議題は春闘をいかにしてたたかうかという点に集約され、そのほか三池闘争の支援、機構改革、尺別問題などが重要な議題となった。

春闘の基本的な方針として、政府・大企業上層(五〇〇〇〇)の賃上げを抑制し、労働者の賃上げを促進する。そのためには、労働者の団結を高め、労働力の行使を強める。以上が中心の目的である。この目的を達成するために、労働者は、政府・大企業上層の賃上げを抑制し、労働者の賃上げを促進する。そのためには、労働者の団結を高め、労働力の行使を強める。以上が中心の目的である。

政府・大企業上層の賃上げを抑制し、労働者の賃上げを促進する。そのためには、労働者の団結を高め、労働力の行使を強める。以上が中心の目的である。この目的を達成するために、労働者は、政府・大企業上層の賃上げを抑制し、労働者の賃上げを促進する。そのためには、労働者の団結を高め、労働力の行使を強める。以上が中心の目的である。

政府・大企業上層の賃上げを抑制し、労働者の賃上げを促進する。そのためには、労働者の団結を高め、労働力の行使を強める。以上が中心の目的である。この目的を達成するために、労働者は、政府・大企業上層の賃上げを抑制し、労働者の賃上げを促進する。そのためには、労働者の団結を高め、労働力の行使を強める。以上が中心の目的である。



写真は山口県厚狭炭鉱労働組合の職員ら

みいけ日誌

- 2月1日 厚生部長会議、編集会議、労働部長会議
- 2日 緊就福岡県庁交渉、春闘交流(東田) 坑内三番方別スト
- 3日 緊就熊本県庁交渉、北九州自治労オグ団来山
- 4日 九本地方委員会
- 5日 本部役員会、労働部長会議、市政共闘委員会、春闘交流(市職) 熊本刑事一部(9日まで)
- 6日 組織部長会議、春闘交流(自労) 福岡刑事一部(8日まで)
- 7日 労働部長会議、大地評委員長会議、福岡労金連合会、春闘交流座談会
- 8日 本部役員会、厚生部長会議、大地評教直部長会議、坑内三番方別スト、主婦会中央執行委員会、大正労組抗議集会
- 9日 中央執行委員会、大牟田裁判(10日まで)
- 10日 政治局、組織部長会議、大地評執行委員会、九本財政部長会議 緊就代表者会議
- 11日 中央委員会
- 12日 本部役員会、九本支部代表者会議、組織部長会議、荒地評執行委員会、福松協評議員会
- 13日 緊就、離職者分会合同会議、会社交渉、熊本刑事二部裁判(17日まで)
- 14日 大地評市政共闘会議
- 15日 政治局会議、政転オグ出発

オルグ続々来山

昨年の十一月に於いた臨時第二十八回臨時大会では、三池の支援を強化する特別決議が行われたが、総評では大企業上層の賃上げを抑制し、労働者の賃上げを促進する。そのためには、労働者の団結を高め、労働力の行使を強める。以上が中心の目的である。

三池闘争と政府、中労委、会社へ抗議を決議 三池闘争と政府、中労委、会社へ抗議を決議 三池闘争と政府、中労委、会社へ抗議を決議

大正・大企業闘争の支援決議

大正・大企業闘争の支援決議 大正・大企業闘争の支援決議 大正・大企業闘争の支援決議 大正・大企業闘争の支援決議

校区別を再編成域

校区別を再編成域 校区別を再編成域 校区別を再編成域 校区別を再編成域

校区別	担当支部	担当政治局長
倉永	〃	〃
上内	〃	〃
吉野	〃	〃
【大牟田市】		
一	担当支部	担当政治局長
二	〃	〃
三	〃	〃
四	〃	〃
五	〃	〃
六	〃	〃
七	〃	〃
八	〃	〃
九	〃	〃
十	〃	〃
十一	〃	〃
十二	〃	〃
十三	〃	〃
十四	〃	〃
十五	〃	〃
十六	〃	〃
十七	〃	〃
十八	〃	〃
十九	〃	〃
二十	〃	〃
二十一	〃	〃
二十二	〃	〃
二十三	〃	〃
二十四	〃	〃
二十五	〃	〃
二十六	〃	〃
二十七	〃	〃
二十八	〃	〃
二十九	〃	〃
三十	〃	〃
三十一	〃	〃
三十二	〃	〃
三十三	〃	〃
三十四	〃	〃
三十五	〃	〃
三十六	〃	〃
三十七	〃	〃
三十八	〃	〃
三十九	〃	〃
四十	〃	〃
四十一	〃	〃
四十二	〃	〃
四十三	〃	〃
四十四	〃	〃
四十五	〃	〃
四十六	〃	〃
四十七	〃	〃
四十八	〃	〃
四十九	〃	〃
五十	〃	〃